リモートI/O <i>R7I4D</i> シリーズ					
取扱説明書	CC-Link IE Field ネットワーク用、ロードセル入力、絶縁 2 点、 ねじ端子台	形 式			
(操作用)	少点数入出力ユニット	R7I4DCIE-LC2-9			

目 次

ご使用いただく前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ご注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
各部の名称
コンフィギュレータソフトウェア設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
接 続
取付寸法図(単位:mm) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
配 線
CC-Link IE Field ネットワーク仕様 ·······7
データ配置・・・・・・8
ビット配置
設定手順(通常モード)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
設定手順(同期通信モード)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
保 証

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にあ りがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記 事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

•	ロードセル入力ユニット1	台
	壁取付用スライダ2	個

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック 表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書では、本器の取扱い方法、外部結線およ び設定方法について詳細に説明します。

■CSP+ファイル

CSP+ファイルは弊社のホームページまたは CC-Link 協会ホームページ https://www.cc-link.org よりダウン ロードが可能です。

R7I4DCIE-LC2-9

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず導電性の 制御盤内に設置して下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させ るために必要な対策(例:電源、入出力にノイズフィ
- ・ルタ、クランプフィルタの設置など)は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体でCEマーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●供給電源

・許容電圧範囲、消費電流 スペック表示で定格電圧をご確認下さい。

直流電源:定格電圧 24 V DC の場合

24 V DC ± 10 %、170 mA 以下

- ●取扱いについて
- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため 必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。
- ・端子台を取外または取付を行う場合は、危険防止のた め必ず、電源および入力信号を遮断して下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょ う体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避 けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ~ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源(リレー駆動線、高周波ライン など)の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダ クト内に収納することは避けて下さい。
- ・感電防止のため、必ず端子カバーを閉じて下さい。

・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能
 を満足するには10分の通電が必要です。

[●]その他

各部の名称



■状態表示ランプ

ランプ名	表示色	内容	状 態	意味
PWR	緑色	内部電源	点灯	正常
			消灯	異常
RUN	緑色	動作状態	点灯	正常動作中
			消灯	機器エラー発生中
RD	緑色	データ受信	点灯	データ受信中
			消灯	データ未受信
SD	緑色	データ送信	点灯	データ送信中
			消灯	データ未送信
D LINK	緑色	データリンク伝送状態	点灯	データリンク中(サイクリック伝送中)
			点滅	データリンク中(サイクリック伝送停止中)*1
			消灯	データリンク未実施、解列中
ERR	赤色	エラー状態	点灯	重度エラー発生中*2
			点滅	軽度エラー発生中*3
			消灯	正常動作中

*1、予約局に設定中、リンク停止中など。

*2、上位通信異常、内部バス通信異常、不揮発性メモリ異常など。

*3、電源起動後に局番設定用ロータリスイッチが変更された。

■入力状態表示ランプ

ランプ名	表示色	動作
A.ZERO	緑色	オートゼロ実行時1回点滅
ZERO	緑色	ゼロ点調整実行時1回点滅
SPAN	緑色	スパン点調整実行時1回点滅
MODE	緑色	通常出力モード時消灯
		モニタ出力モード時点灯
RESET	緑色	オフセットリセット実行時1回点滅
UNDER	緑色	入力信号≦ -1 % で点灯
0-100	緑色	-1 % <入力信号< 101 % で点灯
OVER	緑色	入力信号≧ 101 % で点灯

■局番設定用ロータリスイッチ

局番の上位桁を上側のロータリスイッチで、下位桁を下側のロータリスイッチで設定します。(設定可能範囲:1~120) 実際のご使用にあたって設定可能な局番は、マスタユニットの取扱説明書にてご確認下さい。(工場出荷時設定:01H)



*局番設定例

局番上位桁設定のロータリスイッチにおいて、A:10、B:11、C:12を表します。 例えば局番 115 に設定したい場合は、局番上位設定:B、局番下位桁設定:5 に 合わせます。

D、E、F は未使用ですので設定しないで下さい。

■入出力端子配列

	10		11		12		13		14		15		16		17		18	
	N	С	+EX	C0	+11	٧0	N	С	V	0	+EX	C1	+11	N1	N	С	V	1
1		2		3		4		5		6		7		8		9		
N	C	l-F	XCO	-11	N0	SL	D0	C	:0	- F	XC1	-11	N1	SI	D1		1	

端子 番号	信号名	機能	端子 番号	信号名	機能
1	NC	未使用	10	NC	未使用
2	- EXC0	印加電圧 0 -	11	+ EXC0	印加電圧0+
3	-IN0	入力 0 一	12	+ IN0	入力 0 +
4	SLD0	シールド 0	13	NC	未使用
5	C0	モニタ出力0-	14	V0	モニタ出力0+
6	- EXC1	印加電圧1-	15	+ EXC1	印加電圧1+
7	-IN1	入力1-	16	+ IN1	入力1+
8	SLD1	シールド 1	17	NC	未使用
9	C1	モニタ出力1-	18	V1	モニタ出力1+

R7I4DCIE-LC2-9

■供給電源の配線

適合コネクタ:TFMC1,5/5-STF-3,5 (フエニックス・コンタクト製)(本器に付属) 適用電線サイズ: 0.2~1.5 mm² 剥離長:10 mm

推奨圧着端子:

- ・AI0,25-10YE 0.25 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・AI0,34-10TQ 0.34 mm² (フエニックス・コンタクト製)
- ・AIO,5-10WH 0.5 mm²(フエニックス・コンタクト製) ・AIO,75-10GY 0.75 mm²(フエニックス・コンタクト製)
- ・A1-10 1.0 mm² (フエニックス・コンタクト製) ・A1,5-10 1.5 mm²(フエニックス・コンタクト製)



供給電源
供給電源
機能接地
未使用
未使用

注)コネクタに刻印されている数字と本器の端子番号は無関係 です。本器の取扱説明書に従って配線を行って下さい。

コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータを用いることにより、下記の設定が可能です。 コンフィギュレータソフトウェア(形式:R7CFG)の使用方法については、R7CFGの取扱説明書をご参照下さい。

■チャネル	レ個別設定
-------	-------

項 目	設定範囲	初期値
ゼロ点調整	-50 ~ +50%	_
スパン点調整	10% ~フルスケール	フルスケール
オートゼロ	—	_
オフセットクリア	—	_
オートスケール	0~32,000	_
バイアス	-320.00~+320.00(%)	0.00(%)
ゲイン	-3.2000 ~ +3.2000	1.0000
ゼロスケーリング値	-32,000 ~ +32,000	0
フルスケーリング値	-32,000 ~ +32,000	10,000
負荷係数	10.00 ~ 100.00 (%)	100.00(%)
移動平均回数	2、4、8、16、32、	64(回)
	64、128、256、512、	
	1024(回)	
モニタ出力	-115.00~+115.00(%)	_
出力ゲイン調整	-3.2000 ~ +3.2000	1.0000

■チャネルー括設定

項目	設定範囲	初期値
印加電圧設定	5V、2.5V	5V
ローパスフィルタ	2Hz、2kHz (1Hz) *	2kHz (1Hz) *

*、()内は付加コード: / F1 の場合の値です。

取付方法

■DIN レール(横)取付

・取付の場合

①本体裏面の上側フックを DIN レールに掛けます。
 ②本体下側を押込みます。



・取外の場合

①マイナスドライバなどでスライダを下に押下げます。
 ②手前に引いて本体下側を取外します。
 ③本体上側を DIN レールから取外します。



■壁取付

①下図のように付属の2つのスライダを本体背面のレールに合うようにセットし、1回カチッと音がするまで 挿入して下さい。



②取付寸法図を参考に、M4 ねじで取付けて下さい。 (締付トルク: 1.4 N·m)



接続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位:mm)



端子接続図

EMC(電磁両立性)性能維持のため、FE 端子を接地して下さい。 注)FE 端子は保護接地端子(Protective Conductor Terminal)ではありません。



CC-Link IE Field ネットワーク用 RJ-45 モジュラジャック のCN1とCN2は、配線の接続順序に制約はありません。

取付寸法図(単位:mm)



配 線

■締付トルク

2 ピース端子台配線用ねじ: 0.5 N·m 2 ピース端子台固定用ねじ: 0.5 N·m

■圧着端子

圧着端子は、M3 用の下図の寸法範囲のものを使用して下さい。また、Y 形端子を使用される場合も適用寸法は下図 に準じます。

推奨圧着端子:適用電線 0.25~1.65 mm² (AWG22~16) 推奨メーカ 日本圧着端子製造、ニチフ



■2 ピース端子台の取外方法

本器の端子台は着脱可能な2ピース構造となっており、端子台着脱用ねじを均等に緩めることにより、端子台を取外す ことが可能です。

CC-Link IE Field ネットワーク仕様

データ配置

- ■リモートレジスタ ●入力データ(RWr)
- 本器からマスタ機器に送信するデータを示します。

1	5 0
RWr (n+0)	トータル入力データ※1
+1	CHO入力データ
+2	CH1入力データ
+3	CHO設定コマンド(リードバック)
+4	CH1設定コマンド(リードバック)
+5	未使用
+6	未使用
+7	未使用
+8	未使用
+9	未使用
+10	未使用
+11	未使用
+12	未使用
+13	システム予約
+14	未使用
+15	未使用

※1、トータル入力データ:入力0と入力1の和

■リモート入出力信号

●リモート入力 (RX)

本器からマスタ機器に送信するデータを示します。

		1	5 0
RX	(n+0)	0	未使用
		1	未使用
		2	未使用
		3	未使用
		4	未使用
		5	未使用
		6	未使用
		7	未使用
		8	未使用
		9	未使用
		A	未使用
		В	リモートREADY
		С	未使用
		D	未使用
		Е	未使用
		F	未使用

●出力データ(RWw)

マスタ機器から本器が受信するデータを示します。

	1	5 0
RWw	(n+0)	未使用
	+1	CH0設定データ
	+2	CH1設定データ
	+3	CH0設定コマンド
	+4	CH1設定コマンド
	+5	未使用
	+6	未使用
	+7	未使用
	+8	未使用
	+9	未使用
	+10	未使用
	+11	未使用
	+12	未使用
	+13	システム予約
	+14	未使用
	+15	未使用

●リモート出力 (RY)

マスタ機器から本器が受信するデータを示します。

	1	5	0
$RY \ (n{+}0)$	0	未使用	
	1	未使用	
	2	未使用	
	3	未使用	
	4	未使用	
	5	未使用	
	6	未使用	
	7	未使用]
	8	未使用]
	9	未使用	
	А	未使用	
	в		
	С	未使用]
	D	未使用]
	Е	未使用	
	F	未使用	

ビット配置

アナログ入力ユニットは、コンフィギュレータソフトウェア(形式:R7CFG)にてスケーリングが可能です。 詳細はコンフィギュレータソフトウェアの取扱説明書をご参照下さい。

■アナログ入出力ユニット



負の値は2の補数で示します。

■LC2 設定コマンド詳細



●オートゼロ設定

入力を"0"にオフセットします。オートゼロ設定はゼロ点調整、スパン点調整終了後に行って下さい。 設定方法は以下の通りです。 ①センサをオフセットしたい入力状態にします。 のオートゼロビットに"1" を設定します。オフセットが完了するト A 7FPO 表示ランプが点灯します

②オートゼロビットに"1"を設定します。オフセットが完了すると、A.ZERO 表示ランプが点灯します。 ③完了後、オートゼロビットに"0"を設定します。

●ゼロ点調整

入力のゼロ点を調整します。 設定方法は以下の通りです。 ①センサを無負荷状態にします。 ②ゼロ点調整ビットに"1"を設定します。調整が完了すると、ZERO 表示ランプが点灯します。 ③完了後、ゼロ点調整ビットに"0"を設定します。

●スパン点調整 (実負荷調整)

実負荷にてスパン点調整をします。 設定方法は以下の通りです。 ①センサを実負荷 100 % の状態にします。 ②スパン点調整ビットに"1"を設定します。調整が完了すると、SPAN 表示ランプが点灯します。 ③完了後、スパン点調整ビットに"0"を設定します。

●負荷係数設定

負荷係数を設定することで 100 % の実負荷をかけずに調整が可能です。
以下に 20 % 負荷の設定例を示します。
①センサを実負荷 20 % の状態にします。
②入力の設定データエリアに 20% に相当するスケーリング値 (スケーリング値設定:0~10000 の場合は 2000)を設定します。
③スパン点調整ビットに "1"を設定します。調整が完了すると、SPAN 表示ランプが点灯します。
④完了後、スパン点調整ビットに "0"を設定します。

●モード設定

- 計測モードとモニタ出力モードを選択します。
- ・計測モード

モード設定ビットに"0"を設定すると、計測モードとなります。計測モードでは、モニタ出力が入力データと連動します。 ・モニタ出力モード

モード設定ビットに "1"を設定すると、モニタ出力モードとなります。モニタ出力モードでは、モード設定ビットの 立ち上がりで、各入力の設定データエリアの値を出力します。入力データエリアには、設定データエリアに設定した 値が表示され、入力は無効となります。

以下に、入力 0 の 20 % 相当のモニタ出力の設定方法を示します。

①入力 0 の設定データエリアに 20% に相当するスケーリング値(スケーリング値設定:0~10000 の場合 2000)を設定します。

②モード設定ビットに"1"を設定します。設定が完了すると、MODE 表示ランプが点灯し、モニタ出力端子から 20.00%に相当する出力を出力します。

③出力確認後、モード設定ビット"0"を設定すると、計測モードに戻ります。

●オフセットクリア

オートゼロ設定で設定したオフセット値を0クリアします。

設定方法は以下の通りです。

①オフセットクリアビットに"1"を設定します。0 クリアが完了すると、RESET 表示ランプが点灯します。 ②完了後、オートゼロビットに"0"を設定します。

設定手順(通常モード)

ここでは、三菱電機製エンジニアリングソフトウェア GX Works3 を使用することを前提に、本器の設定手順を示します。

1. プロファイルを登録する

本器は CC-Link ファミリーシステムプロファイル (CSP +) をサポートしています。CSP+ファイルは弊社のホームページ または CC-Link 協会ホームページ https://www.cc-link.org よりダウンロードしてご利用いただけます。

注) CSP+の登録は必須ではありません。登録しない場合は本項を飛ばして、「2. システムを構築する」からはじめて 下さい。

① GX Works3 を起動します。

靖 GX Works3

②メニューの[ツール]→[プロファイル管理]→[登録]をクリックします。



③ダウンロードしたファイルを選択し〔登録〕をクリックすると、登録が完了します。



2. システムを構築する

下図の構成でライン接続する場合を例に説明します。



①マスタ局、リモートデバイス局(本器)を Ethernet ケーブルで接続します。

CC-Link IE Field ネットワーク用 RJ-45 モジュラジャックの CN1 と CN2 は、配線の接続順序に制約はありません。 配線時、各機器の電源は OFF にして下さい。

②配線がすべて完了した後、各機器の電源を ON にします。

3. プロジェクトを作成する

マスタ局と PC を接続し、あらかじめ PC にインストールされたエンジニアリングソフトウェア GX Works3 でマスタ局 のプロジェクトを作成します。

①エンジニアリングソフトウェア GX Works3 を起動します。

②メニューの[プロジェクト]→[新規作成]を選択し、プロジェクトを新規作成します。

	Ĩ	訳		
プロ	ジェクト(P)	痛集(E)	検索/置換(F)	104
ľ	新規作成(N)		Ctrl+N	
1	開く(0)		Ctrl+0	
	閉じる(C)			

③シーケンサのシリーズ、機種、プログラム言語を選択し[OK]をクリックします。

新規作成	X
シリーズ(S)	🐗 RCPU 👻
機種(<u>T</u>)	R04EN 🗸
プログラム言語(<u>G</u>)	● ラネ クリック ● ラネ クリック ● マンセル

④次の画面で[ユニットラベル:使用しない]となっている場合は、[設定変更]をクリックしてオプション画面を表示させ、 使用するに変更します。

MELSOFT GX Works3								
i	ユニットを追加します。 【ユニット形名】RO4ENCPU 【先頭I/O No.】3E00	<u> </u>						
בב	小の設定	設定変更						
11	ニットラベル:使用しない	*						
		~						
	^{条、} このダイアログを表示しない(<u>D</u>)	ОК						

[動作設定]-[ユニットラベルを使用する]の項目を[はい]に変更して[OK]をクリックします。

オプション		×
11 プロジェクト	[動作設定	
ーー デバイスコメント参照/反映先	ユニットラベルを使用する	はい・
ユニットラベル		the
ナビゲーション	ユニット追加時に確認メッセージを表示する	(30)
プログラムエディタ		
◎ その他のエディタ		
 ・ 福県 ・ ・ ・		
ネ オンライン		
夏変換	ユニットラベルを使用する	
載 インテリジェント機能ユニット 「IO Works連携	ユニットを追加にした時に、ユニットラベルを追加す 	るかどうかを選択します。
		<u> </u>
		レポー (1) エクスポート(E)
「ギフォルトへ戻す(の)」「既定値へ戻す(

⑤ナビゲーションウィンドウの[ユニット構成図]をダブルクリックしてユニット構成図画面を開きます。 実際のシーケンサ構成通りに部品選択ウィンドウの部品一覧から機器を選択し、ユニット構成図にドラッグ&ドロップします。

📴 MELSOFT GX Works3 (プロジェクト	未設定) - [ユニット構成図]							
: プロジェクト(P) 編集(E) 検索/置換	ŧ(F) 変換(C) 表示(V) オンラ	ライン(O) デバッグ(B) 診断(D)	ツール(T) ウィンドウ(W)) ヘルプ(H)				_ 8 ×
	. 🛛 🗛 🖬 🖬 🖉 🖓 🖓	🖙 🖛 🚝 👧 💏 🔣 🐘 🐘		⊕ ⊝ 100%	🖷 🖬 🖉	⊘ 最大: ▼		· .
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		-						
·▲ 16 10 / DOE 4.								
ナビゲーション ^単 ×	🔛 ユニット構成図 ×				4 ۵ 🗕	部品選択		ų ×
					^	(部品検索)	新鹤 僧	l⊊+ l <u>x</u>
者 プロジェクト						☆ 🗅 X 🔄-		
			(ドラック	ブ&ドロッフ	<i>'</i>)	表示対象· 全て		•
III 🚾 ノロクラム			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		-	iQ-Rシリーズ		<u>^</u>
				V		基本ベース		
🖬 🚰 デバイス								
🗉 🛃 パラメータ						シーケンサCPU		
						部品一覧 お気に入り 履歴	ユニット ライブ	ラリ
						構成詳細情報1カ))	
								т ^
						様の詳細情報が支わませく		
						149/028+9/011H #02/00/02/02 & C/06		
					-			
	•	III			•	検索と置換	報入力	
	出力							д×
	プロファイルのバージョンチェッ	ック 😳 Error:0 🗼 Warning:0						
	No. 結果 説明							
🛃 接続先 🏪 ナビゲーション	■ 出力 ■ 進捗							
				R04EN	目局			CAP NUM

⑥ CC-Link IE Field通信ユニットをダブルクリックし、パラメータ設定画面を表示させます。



⑦[必須設定]の[局種別]にマスタ局、[ネットワークNo.]に1を設定します。

📺 ユニット構成図 🛛 🤮 0000:RJ71GF11-T	2 בב <u>אר ×</u>	4 ۵	•
設定項目一覧	設定項目		
	-70	⊒⊼₂⊷∽	٦
使業する設定項目をここに入力	🗆 局權別設定		
	局種別	マスタ局	
	□ ネットワークNo設定		
□ ● ● 必須設定	ネットワークNo.	1	
● 💽 基本設定	一句田政上		
▲ 💼 🛅 応用設定	局番談定方法	パラメータで設定	_
	◎ 「「「「」」」「「」」」「「」」「「」」」「「」」」「」」」「」」」「」」」	U	
	日 ハンプラ設定の法 基本設定/広田設定の設定支注	- パーリーカブ語学	
		177A D CBRE	
	- 1		
	局種別を設定します。		
			Ŧ
	T , P (V)		
項目一覧検索結果		ナノオルトに戻りしり	
		適用(A)	

⑧ [ネットワーク構成設定] の<詳細設定>を押して [CC IE Field 構成] ウィンドウを表示させます。

🔟 ユニット構成図 🥵 0000:RJ71GF11-T	2 ユニット ×		4 Þ •
設定項目一覧	設定項目		
		E&÷	
使案する設定項目をここに入力 ▲	🖃 ネットワーク構成設定		
	ネットワーク構成設定	〈詳細設定〉	
⊞60 必須設定	- リフレッシュ設定		
■ 💽 基本設定	一体を設たすると	これ、接待 フカー接続 またけつカー接待レスイン接待が得た	
● 通 応用設定	一一一 乙乙烯乙烯酸化	ノイン1数1元、人グー1数1元、よんは人グー1数1元とノイン1数1元00元には	
	マスタ局復列時動作設定	マスタ動作局として復列する	
	説明 ネットワーク構成を設定します。 チェック(K)	デ _{フォルト} (ご戻す(U)	*
項目一覧(陳家結果)			
		適用(A)	

実際のシステム構成通りに各構成ウィンドウのユニット一覧から機器を選択し、機器構成図にドラッグ&ドロップします。 メニューの「設定を反映して閉じる」をクリックします。

注)本器の CSP+を登録していない場合、「汎用 CC-Link IE Field ユニットー汎用リモート局」を選択して下さい。

Į	😫 CC IE Field構成 (先頭I/O : 0000)												
:	CC	IE Fie	ld構度	戎(I) 編集(E)	表示(V) ツール(T)	設定を	破棄し	て閉じ	/ଗ(N	設定を	反映し	て閉じる(R)
Γ			接約	も機器の自動検出								Ν	ユニット覧 ×
		モード書	段定(N	1): オンライン(標準日	EK)		•	割付け	方法(A):	先頭	7	リック	 CIE Field選択 ユニット検索 お気 (↓)
			台数	形名	局番	局種別	R) 占料	先頭	定最終	RWW 占料t	w/htwna 先頭	最終	
	▼		0	自局	0	マスタ局	A	765A	40.00	7	765A	ACOUNT	田 汎用CC IE Fieldユニット □ CC IE Field絶野(三美電機)
		Assault	1	R7I4DCIE-LC2-9	1	リモートデバイス局	16	0020	002F	16	0014	0023	□ CC IE Field機器(エム・システム技研
													田 R3-NCIE1通信ユニット
l.		•					6		H o L		~	,	田 R30GCE1通信人出力カード 田 R30NCIE1通信フェット
				局番1			C	トフッ	7& F	U 9 7	シュ		日 R7I4DCE少点数入出力ユニット
												-	R7I4DCE-LC2-9
	自局								/				
				a									【 税罢】 リモート 1/0 変掻男
	局番	10 マス 話して	肉局	a									【メーカ名】
	54.	ン/スタ·	-										エム・システム技研
				R7I4DCIE-									【 <i>同理別】</i> リモートデバイス局
				LG2-9									
				•								÷.	

⑨ [リンクリフレッシュ設定] の<詳細設定>を押して [リンクリフレッシュ設定] ウィンドウを表示させます。

正 ユニット構成図 いのの:RJ71GF11-T	2 ユニット ×		4 Þ ▼
設定項目一覧	設定項目		
検索する設定項目をここに入力	項目 日 オットワーク構成設定 ナットローク構成設定		
Pe H- P=	□ リフレッシュ設定 □ リフレッシュ設定	〈詳細設定〉	
□【● 基本設定 □ 通 応用設定	□ マスタ局復列時動作設定	ライン接続、スター接続、またはスター接続とライン接続の混在	
	□ マスタ局復列時動作設定	マスタ動作局として復列する	
	説9月 ネットワーク構成を設定します。		A •
項目一覧検索結果	チェック(K)	デフォルトに戻す(U)	
			適用(A)

リンクデバイス RX/RY/RWw/RWr を CPU ユニットに割り付け、[適用] をクリックして閉じます。

III ユニット構成図 🛛 🥵 0000:RJ71GF11-T2 ユニット ×													
設定項目一覧	設定項	3											
検索する設定項目をこに入力		1		小海側					CPUI				
	No.	デバイスジ	8	点数	先頭	最終		リフレッシュ先	デバイス名	点数	先頭	最終	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	-	SB	•	512	00000	001FF	-	ユニットラベル 👻					
- 🖉 ネットワーク構成設定	-	ew	H	E10 04	00000	00100	-#-	+ketter = 1,2,7 a	M .	04	00100	00105	
	2	RY	-	04 64	00000	0003F	- 2-	指定デバイスマー	∧ ▼	64	00100	0013F	
マスタ局復列時動作設定	3	RWr	÷	64	00000	0003F		指定デバイスマ	D V	64	0	63	
■ 🚡 🚡 応用設定	4	RWw	-	64	00000	0003F	₩.	指定デバイス 🗸	D 💌	64	1000	1063	
	説明 CC-Lin 定します	k IE フィール 。	ドネ	ットワークコ	12- እዮውስ	ンク特殊!	UU-/US	ジスタ、リンクデバイス	220PUIII>F4	Dデバイス	間の転送	範囲を設 ック	
項目一覧検索結果		チェック(K)			デ	フォルトに	:戻す(U)				V		
											適用(A)	

⑩メニュー [変換] → [変換] を実行します。

選択								
変換	(C) 表示(V) オンライン	(0) デバッ						
The second secon	変換(B)	F4						
-	変換+RUN中書込み(O) 9	Shift+F4						
Ę,	全変換(R) Shift-	+Alt+F4						
	プログラムファイル設定(P)						
	設定(S)							

⑪メニュー [オンライン] → [シーケンサへの書込み] を選択し、オンラインデータ操作ウィンドウを表示させます。

オン	·ライン(0) デバック(D) 診断(D)
	現在の接続、選択
	シーケンサからのに出し(R)
-	シーケンサへの書込み(W)
	シーケンサとの照合(V)
	リモート操作(S)
	安全シーケンサ操作(F) ▶
	CPUメモリ操作(0)
	シーケンサのデータ削除(D)
	ユーザデータ(E) ▶
	時計設定(C)
	モニタ(M)
	ウォッチ(T) ▶
	ユーザ認証(U) ▶
	実機のユニット構成読出し(A)

必要項目にチェックを入れ、[実行]をクリックします。

オンラインデータ操作								
表示(D) 設定(S) 関連	機能(∐)							
1.1.1 (1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	2# 🖳 🕕 🏢	読出し 🔜 ,	1111 照合), 🥎 🎹 Alba	Ŕ			
パラメータ+プログラム(F) 全選択(A) 凡例								
シリーの全開閉(I)	全解除(N)	♦ CPU内蔵メモリ	■ SDメモリカート	* 🚯 インテリジ	コント機能ユニット			
ユニット形名/データ名		۵	🚮 👬	見出し文	更新日時	サイズ(バイト)		
R04ENCPU_C	CIEF_TEST							
🗉 🛃 パラメータ								
🕀 🏠 グローバルき	ラベル							
⊕ 🏦 グローバルき	ラベル初期値							
□ 🛅 □ーカルラベ	「ル初期値							
□ 🔚 プログラム			目羊糸田					
	:9 2.5							
□ 🔮 ノアイルレン	7755							
メモリ容量表示								
メモリ容量	- TOKALJEU					加まが見		
サイズ計算(1)						158/160KB		
凡例	データメモリ					空き容量		
(使用済み容量						1831/2049KB		
増加容量	デバイス/ラベルメモリ(フ:	ァイル格納領域) ――				世会な重		
■ 減少容量						<u>(</u> クリック) [™]		
残容量5%以下	SDメモリカード					一二で谷里		
						0/0KB		
						実行(E) 閉じる		

設定手順(同期通信モード)

本器は CC-Link IE Field ユニット間同期通信機能に対応しています。 前項「設定手順(通常モード)」でプロジェクトが作成できている前提で、同期通信モードにするための設定について、

以下に説明します。 注) ユニット間同期機能使用時は、ユニット間同期割り込みプログラム内で入出力リフレッシュを実施することから、 ラダープログラムでユニット間同期割込みプログラム(I44)を実行する必要があります。 詳細は、マスタユニットの取扱説明書をご参照下さい。

①ナビゲーションウィンドウの [パラメータ] - [システムパラメータ] をダブルクリックで開きます。



[ユニット間同期設定]タブをクリックします。
 [システム内でユニット間同期機能を使用する] – [使用する] を選択します。

システムパラメータ		
└/O割付設定 マルチCPU設5 】ユニット間同期	設定	
設定項目一覧	設定項目	
検索する設定項目をここに入力(クリッ		設定
		使日オス
	ユニット間同期対象ユニット選択	(詳細設定)
	0.05ms単位の設定	設定しない
	定周期間隔設定(0.05ms単位で設定しない)	0.888ms
	定周期間隔設定(0.05ms単位で設定する)	0.50 ms
	CC IE TSN/CC IE Fieldの同期マスタ設定	設定しない
	<u>装着スロットNo.</u>	0

③ [ユニット間同期対象ユニット選択] -<詳細設定>をクリックし、同期対象とするユニットの設定を [同期する] に変更し、[OK] をクリックしてウィンドウを閉じます。

Ī	期対象ユニット	の選択			X
	スロット	ユニット形名	管理	マスタ/ローカル	設定
	□ 基本 □ CPU □ 0(0-0) □ 1(0-1) □ 2(0-2) □ 3(0-3) □ 4(0-4)	R00CPU(自号機) RJ71GF11-T2	1号機 1号機管理	ৼ৴ৡ	同期する 同期する 選択

④ [ユニット間同期の定周期間隔設定] を 0.05 ms 単位で設定しない場合、[定周期間隔設定(0.05 ms 単位で設定しない)]の項目でプルダウンメニューから設定値を選択します。

システムパラメータ		
I/O割付設定 マルチCPU設定 ユニット間	明設定	
設定項目一覧	設定項目	
検索する設定項目をここに入力		設定
■ 日本		使用する (詳細設定> 選択 設定しない 0.808ms U.5U ms 設定しない 0

⑤ [ユニット間同期の定周期間隔設定] を 0.05 ms 単位で設定する場合、[0.05 ms 単位の設定] - [設定する] を選択し、 [定周期間隔設定(0.05 ms 単位で設定する)] の項目に任意の設定値を入力します。

システムパラメータ		
I/O割付設定 マルチCPU設定 ユニット間同期	1設定	
設定項目一覧	設定項目	
検索する設定項目をここに入力	項目	設定 使用する (詳細設定) 設定する 1.00 ms 1.00 ms 設定しない り 数値を入力

⑥ [OK] をクリックし、システムパラメータウィンドウを閉じます。

システムパラメータ		
1/O割付設定 マルチCPU設定 ユニット間同期	没定	
設定項目一覧	設定項目	
検索する設定項目をここに入力	項目 日 2二카間同期設定	設定
 □ ■ ■ ■ ■<!--</th--><th></th><th>使用する (3詳細胞定2) 該定しない 0.888ms 0.50 ms 目数定しない 0</th>		使用する (3詳細胞定2) 該定しない 0.888ms 0.50 ms 目数定しない 0
項目一覧 検索結果	システム内でユニット間両用機能能を「使用する」、「使用する」、「使用する」、「使用する」、「以下のパラメータの変更ができ、 ・1/O割付款定 チェック(K) デフォルトに戻	ないな設定します。 なべなります。 す(U)
システムパラメータ流用		OK +v/t/

⑦ CC-Link IE Field パラメータ設定ウィンドウを開きます。

[ネットワーク構成設定]の<詳細設定>を押して [CC IE Field 構成] ウィンドウを表示させます。

🔟 ユニット構成図 🤱 0000:RJ71GF11-T	2 בבע א ×		4 Þ -
設定項目一覧	設定項目		
		E&¢	
快系9つ設定項日をこしにハノノ (11)	🗆 ネットワーク構成設定		
	ネットワーク構成設定	〈詳細設定〉	
⊞60 必須設定	- リフレッジュ設定	〈言羊糸曲言文定〉	
■ 💽 基本設定		ミハ 接続 つかい接続 またけつかい接続レミハ 接続の現在	
⊞~100 応用設定	□ マス々局復列時動作費定	フィンゴ類に、人文二致に、よどは人文二致にとフィン技にの起任	
	マスタ局復列時動作設定	マスタ動作局として復列する	
	説明 ネットワーク構成を設定します。		Â *
項目一覧検索結果	チェック(K)	デフォルトに戻す(U)	
			適用(A)

⑧ [ネットワーク同期通信設定] を [同期する] に変更します。
 メニューの「設定を反映して閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。
 [CC IE Field 構成] ウィンドウで [適用] をクリックして閉じます。

			クリック)
L) C	C IE Field構成(先頭I/O:0000)			
i co	C IE Field構成(I) 編集(E) 表示(V)	ツール(T) 設定を破棄して閉じる(N) 設定を	と反映して閉じる(R)	
	接続機器の自動検出			- ユニット一覧 ×
	モード設定(M): オンライン(標準モード)	→ 割付方法(A): 先頭/最終	▼ リンクスキャンタイム(概算値):	CC IE Field選択 ユニット検索 お気に入り
	台数 形名	予約/エラー無効局/ 系切替え監視対象 ペアリング 局	ネットワーク同期 通信設定 機器名	
	1 R7I4DCIE-LC2-9	設定なし	同期する	田 ルHCC IL Fieldユ_ット □ CC IL Field機器(三菱電機) □ マスタ・ローカルユニット
自局	▲	m	選択	 □ ヘッドユニット □ サーボアンブ(MR-J4シリーズ) □ 基本ディジタルムカユニット □ 基本ディジタルムカユニット □ 基本ディジタル人力カニーット □ 基本アナログ人カユニット □ 基本アナログムカユニット □ 基本アナログムカユニット □ 基本マルチ入力(電圧/電流/温度)ユニット □ 基本高速力シックユニット □ 基本高速力シックユニット □ 基本30~Linkユニット
	<		۱. ۲	

その後、前項「設定手順(通常モード)」⑩以降の手順でシーケンサに書き込みます。

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、 万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出 荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返 送いただければ交換品を発送します。